

「ローテーブルの製作」

班員：佐藤 春樹 指導教員：渡部 貴久 佐藤 正樹

1. はじめに

このテーマを選んだ理由はこれまでに学んだ知識や、実習で培った技術を活かし、実用的なもの、形に残るものを製作したいと考えたからです。自分の部屋に置くことをイメージしてデザイン性と機能性に優れたローテーブルの製作に挑戦しました。

2. 研究内容

作品の特徴はヘリボンという模様です。ヘリボンとはニシンの骨を並べた形に似ていることに由来する名称で、山形を連続させたような模様のことをいいます。これは、タイル張りやフローリングにも用いられ、矢筈模様（やはずもよう）という呼び方もされています。

自動かなな盤とベルトサンダー、丸のこを用いて2×4材を加工し、天板部分を製作しました。天板の素地にはパイン集成材を使用し、枠には木造住宅の屋根の骨組みに使用する垂木（たるき）という部材を使用してあります。張り付ける天板の表面を仕上げサンダーで平らに削った後、味のある色合いになるように一つ一つ丁寧に塗装し、隙間なく張り付けました。できるだけ重くならないようにすることと、飽きがこないように脚の部分はシンプルなデザインにしてあります。



図1 ヘリボン張り

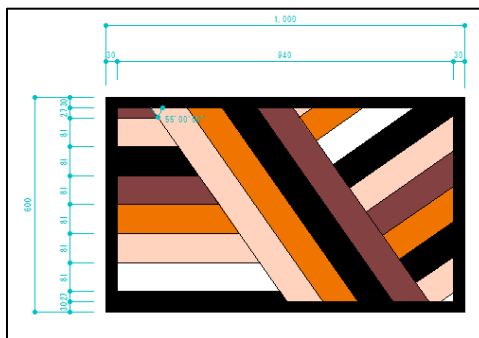


図2 製作図



図3 部材の加工

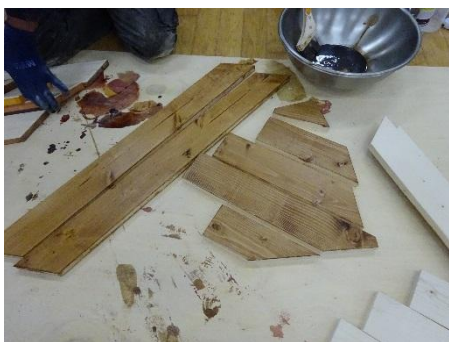


図4 塗装



図5 天板の張り付け



図6 完成

3. おわりに

課題研究を通して自分で考えたものを形にするという楽しさと達成感を感じることができました。反省点としては天板の部材を並べたときに少し隙間ができていたので角度や寸法の調整が甘かったと思います。完成度の高い作品に仕上げるためには、事前の計画と丁寧な作業が大切だということを学びました。